

昭和62年

11月1日号

No.508

広報

あしや

芦屋市の人団と面積

—昭和62年10月1日推計人口—
人口総数 88,553 世帯数 31,622
男 41,642 女 46,911 面積 17.31km²

発行 芦屋市役所(公聴広報課) 0797-31-2121
兵庫県芦屋市精道町7番6号 毎月1日・15日発行



都市と文化

～芦屋とモダニズム～

1920▶1940

小出橋重『枯木のある風景』

1930 油彩、布 72.8×90.8cm

〈川西町阪神電鉄沿線〉

こいで・ならしげ=明治20年(1887)生まれ。洋画家。大阪・芦屋の阪神間を制作活動の拠点とした数少ない洋画家の一人。卓越した素描に定評。裸婦像の名手として「裸婦の橋重」の名で呼ばれている。昭和6年(1931)没。「枯木のある風景」は橋重最後の油彩画。



《周秋蘭立像》制作中の橋重(1928年川西町のアトリエで)

今年は、大阪で生まれ、晩年を芦屋で過ごした洋画家小出橋重の生誕百年にあたり。この好機に、現在兵庫県立近代美術館で、大規模な回顧展が開催されている。(今月二十九日まで)

近代美術と芦屋

兵庫県立近代美術館

学芸員 山野 英嗣

今年は、大阪で生まれ、晩年を芦屋で過ごした洋画家小出橋重の生誕百年にあたり。この好機に、現在兵庫県立近代美術館で、大規模な回顧展が開催されている。(今月二十九日まで)

小出橋重は、わが国近代洋画史上、特に裸婦像の名手と呼ばれているが、卓越した素描力に定評があり、静物や風景、さらには谷崎潤一郎の『夢喰う蟲』をはじめとした挿絵にも、すぐれた腕の冴えを發揮した。しかも、一九一九年(N)の家族(大原美術館蔵)でデビューしてからは、年を経るごとに自らの画業を高めていった希望(まれ)にみる画家であつたのである。

時代が大正から昭和へと変わろうとする一九二六年橋重はそれまで住み慣れた大阪を離れ、芦屋に移った。

「座るべき座敷のない」洋風の家屋、アトリエを新築し、このアトリエから、裸婦、静物の傑作が生み出されたのであった。橋重の人と作品について語ろうとするなら、この芦屋時代を抜きにすることはできない。現在開催中の回顧展でも、出品作品

は、橋重の最後の油彩画である。そして、この作品は未完成のまま残されている。作家宇野浩二は、橋重をモデルに同じ題名の小説を著している。

画面中央に巨大な鉄柱。前面に横たわる枯木。電線には、橋重自身か、そこまで考えなくとも、単に電線工夫、あるいは鳥なのか。この作品のテーマをめぐつては興味がつきない。もしも、橋重がこの作品を完成させていたとしたなら、さらに、もうすこしでも命があるとしたとしたならば、全く新たな表現領域を開拓していたかも知れない。そんな思いが頭をよぎる。

いずれにしても、この未完の問題は、その舞台となつた芦屋にも異様で巨大的な電柱が現れ、それを橋重が象徴化したことだけは間違いない。この作品は、当時、郊外にも進出した都市風景を代表するものなのだ。

「広報あしや」は、あなたのまちの広報委員さんの手でご家庭にお配りしています。

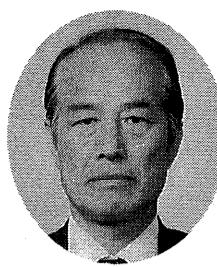
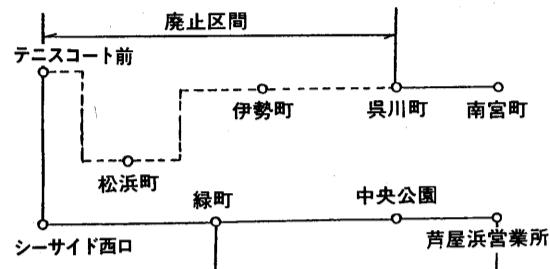
阪急バスが便利になります

阪急バスの市内路線が今月下旬再編成されます。再編後は、芦屋浜地区から市内三主要駅への接続便が増便されるほか、始発を早めるとともに終発の延長が実施されます。

また、芦屋浜・市東南部地区から芦屋病院への路線が充実されることになっています。

詳しくは、阪急バス芦屋浜

大変な変更区間



田島 滋さん 竹内 修さん



今年度は、個人の部では、弓道の普及に貢献されていいる竹内修さんと、視力障害者福祉の向上に努められていている「あし笛」に

田島 滋さん (芦屋市弓道連盟理事、山手町在住、六十七歳)

永年にわたり弓道選手として活躍し、明治神宮

全国大会（昭和十六年）・全日本弓道大会（昭和二十一年、四十二年）で優勝などの好成績をおさ

めるとともに、全日本弓道連盟理事、兵庫県弓道

連盟会長、芦屋市弓道協会長を務められ、青少年

年から高齢者に至るまで幅広く弓道の普及にあた

り、多くの弓道選手を育成されました。さらに、

昭和五十四年には欧州各地で講習会を開くなど、弓道の海外普及にも尽力

してきました。さるに、

十一月三日、「文化の日」に市民セ

決しました。

田島 滋さん（芦屋市弓道連盟理事、山手町在住、六十七歳）

詩人富田碎花氏の親族

にあたり、碎花氏生前中

は執筆生活に協力するとともに、碎花氏死亡後は

膨大な文学関係の諸資料

を市に寄贈されました。

また、富田碎花顕彰会が

発足すると委員として資料整理に参画し、富田碎

花資料館の開館（今年五月）に貢献されました。

田島 滋さん（会員十八人）

昭和五十年に主婦を中心して、芦屋市つづじ賞

にて、芦屋市つづじ賞

（昭和五十年）・優良社員表彰

（昭和五十九年）などを受けて活躍されています。

詳しく述べ、市秘書課

（☎②2121内線206）へ。

第4回定例市議会報告

第四回定例市議会は九月十六日から十月一日まで開催されました。今議会で審議した案件は、スポーツ振興審議会条例や、打出小松町の居住表示実施に関する議案のほか、市立芦屋病院の第四期増改築予算など六議案で、いずれも原案どおり可決・承認・同意されました。なお、一般会計補正予算の中に含まれていた市民案内業務委託料と、教育行政調査に要する経費については、それぞれ、「受付業務の重要性からみて、正規職員を配置すべきである」というような行政調査は、違法なものである」と減

縮結について

【承認された報告】

▽一般・病院事業の各会

議案で開催されました。

【可決された議案】

▽スポーツ振興審議会条例の制定について：スポーツ振興に関する施策について意見を聴くため

【可決された議案】

▽スポーツ振興審議会条例の制定について：スポーツ振興に関する施策について意見を聴くため

【同意された人事案件】

▽教育委員会委員：黒田久寅氏の任命

▽固定資産評価員：安岡井佐雄氏の選任

【継続審査となつた議案】

▽教育委員会の各会計認定について

【採択された請願】

▽宿泊施設（単身者用集合住宅）建設に反対する請願

▽山芦屋町の集合住宅建

設計画に反対する請願

▽大阪湾岸道路料金徴収所並びにランプ設置に関する請願

▽城山山麓へのマンショ

ン建設反対の請願

▽三条校区内に総合的な文教施設及公園等を新設願うための用地買取方御願いに関する請願

▽大阪湾岸道路の芦屋ランプ及び料金所の設置に反対する請願書

【主な一般質問】

▽総務関係

▽打出集会所の建て替え

▽久寅氏の任命

▽固定資産評価員：安岡

井佐雄氏の選任

【継続審査となつた議案】

▽教育委員会の各会計認定について

【採択された請願】

▽宿泊施設（単身者用集合住宅）建設に反対する請願

▽山芦屋町の集合住宅建

設計画に反対する請願

▽大阪湾岸道路料金徴収所並びにランプ設置に関する請願

▽城山山麓へのマンショ

ン建設反対の請願

▽文教関係

▽スポーツ振興策について

▽教育の正常化につ

いて「公有財産の取得・

管理について」「住民監

査請求権について」

▽文教関係

▽スポーツ振興策につ

いて「教育問題の懇話

会について」「体育館の

規制強化について」「駐

輪場のアイディア募集に

ついて」「阪神芦屋駅周辺の交通安全対策策について」「開発指導要綱の強化について」「地区計画制度の導入について」

【実施中】

放置自転車

クリーンキャンペーン

11月11日(水)～17日(火)は強化週間

市では、駅前などの迷惑な放置自転車やバイクのクリーンキャンペーンを実施しています。

11月12日(木)には、駅周辺の放置自転車を撤去します。みんなの心がけで、放置自転車やバイクをなくしましょう。

問い合わせ…市道路交通課(☎②2121内線406)

朗読ボランティア「あし笛」に
竹内・田島両氏と

昭和四十二年に制定された芦屋市民文化賞

は、今年で二十一回目を迎えます。

本賞は、学術・科学・教育等の研究実践や、

芸術・芸能・体育等の活動によつて、市民文化の向上発展に貢献されたかた、また、地域社会の発展に尽くされ、その功績が顕著なたに対し全市民の感謝をこめて贈呈するものです。

今年度は、弓道の部では、弓道の普及に貢献されていっている竹内修さんと、芦屋市弓道連盟理事、山手町在住、六十七歳）

田島滋さん（芦屋市弓道連盟理事、山手町在住、六十七歳）

として活躍し、明治神宮

全国大会（昭和十六年）・全日本弓道大会（昭和二十一年、四十二年）で優勝などの好成績をおさ

めるとともに、全日本弓道連盟理事、兵庫県弓道

連盟会長、芦屋市弓道協会長を務められ、青少

年から高齢者に至るまで幅広く弓道の普及にあた

り、多くの弓道選手を育成されました。さらに、

昭和五十四年には欧州各地で講習会を開くなど、弓道の海外普及にも尽力

してきました。さるに、

田島 滋さん（会員十八人）

昭和五十年に主婦を中心して、芦屋市つづじ賞

にて、芦屋市つづじ賞

（昭和五十年）・優良社員表彰

（昭和五十九年）などを受けて活躍されています。

詳しく述べ、市秘書課

（☎②2121内線206）へ。

花資料館の開館（今年五月）に貢献されました。
あし笛（会長北山たか子さん、会員十八人）

昭和五十年に主婦を中心して、芦屋市つづじ賞

にて、芦屋市つづじ賞

（昭和五十年）・優良社員表彰

（昭和五十九年）などを受けて活躍されています。

詳しく述べ、市秘書課

（☎②2121内線206）へ。

花資料館の開館（今年五月）に貢献されました。

あし笛（会長北山たか子さん、会員十八人）

昭和五十年に主婦を中心して、芦屋市つづじ賞

にて、芦屋市つづじ賞

（昭和五十年）・優良社員表彰

（昭和五十九年）などを受けて活躍されています。

詳しく述べ、市秘書課

（☎②2121内線206）へ。

花資料館の開館（今年五月）に貢献されました。

あし笛（会長北山たか子さん、会員十八人）

昭和五十年に主婦を中心して、芦屋市つづじ賞

にて、芦屋市つづじ賞

（昭和五十年）・優良社員表彰

（昭和五十九年）などを受けて活躍されています。

詳しく述べ、市秘書課

（☎②2121内線206）へ。

花資料館の開館（今年五月）に貢献されました。

あし笛（会長北山たか子さん、会員十八人）

昭和五十年に主婦を中心して、芦屋市つづじ賞

にて、芦屋市つづじ賞

（昭和五十年）・優良社員表彰

（昭和五十九年）などを受けて活躍されています。

詳しく述べ、市秘書課

（☎②2121内線206）へ。

花資料館の開館（今年五月）に貢献されました。

あし笛（会長北山たか子さん、会員十八人）

昭和五十年に主婦を中心して、芦屋市つづじ賞

にて、芦屋市つづじ賞

（昭和五十年）・優良社員表彰

（昭和五十九年）などを受けて活躍されています。

詳しく述べ、市秘書課

（☎②2121内線206）へ。

花資料館の開館（今年五月）に貢献されました。

あし笛（会長北山たか子さん、会員十八人）

昭和五十年に主婦を中心して、芦屋市つづじ賞

にて、芦屋市つづじ賞

（昭和五十年）・優良社員表彰

（昭和五十九年）などを受けて活躍されています。

詳しく述べ、市秘書課

（☎②2121内線206）へ。

花資料館の開館（今年五月）に貢献されました。

あし笛（会長北山たか子さん、会員十八人）

昭和五十年に主婦を中心して、芦屋市つづじ賞

人々の期待と希望を担い、スパートニクに乗つて、空から地球を回つたソ連の宇宙飛行士は「地球の色は青かった」と、その印象を語り、アメリカは「月の石」拾いに成功した。近年、悲惨な事故を起しながらもスペースシャトル計画は実行に移されているし、金星への航路何年かの実験も、米ソは引き続き進めていく。この止む事なき、宇宙への憧れと人間の発達は、未知への興味と無限

天文學的数字の予算を注ぎ込んだことか。われわれはこの血のにじむ勝利の前に、ただ肅然（しゆくぜん）と脱帽し、恐

- 8 -

天空よりも地上を

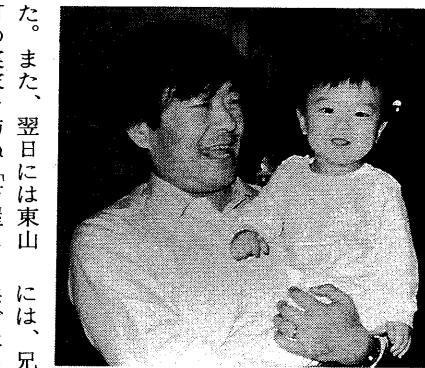
曹基亨

の可能性を秘めて今、飛躍的發展を遂げつつある。人間は、これまでの間、どれだけ必死に研究を重ね、努力を傾けてきたことか、またいかに膨大な

れるばかりである。今後、これらの成果が、たゞ単に宇宙の謎解きとか競争に止まらず、さらに進んで人類の福祉増進に寄与し、役立つことを祈

カなど世界各地に飢餓線上で喘（あえ）いでいる人が何億となくいることを忘れてはなるまい。これらの人々は「愛は地球を救う」とか、毛布を集めたりの民族が慢性的食糧危機から解放され、自立するには、例えば、砂漠の綠地化とか人工降雨の本格的成功など、大自然改造計画と実施がぜひとも必要である。当然そのためには、予算措置やハ

び老人保健医療の助成を申請された人に限ります）。助成を申請された方のうち、身障手帳（一級・四級）または療育手帳（重度・中度）をお持ちのかたで、受診の時一部負担金を支払われた場合は、九月分までの領収書を提出してください」と述べています。



喜びの父勉さん、市長お祝いに



父勉さんにランの鉢植えを贈る市長

十月十二日、世界の人が注目する中でノーベル医学・生理学賞の発表があり、利根川進博士（マサチュー・セツツ工科大学教授・四十八歳）が医学・生理学賞としては日本人で初めて受賞されることになりました。博士は、これまでにも文化勲章（五十九年）、ラスカー賞（六十二年七月）など数かずの栄誉ある賞を受賞していますが、今回は世界で最も栄誉ある賞を受賞されることになりました。

山村市長は博士の受賞が発表された直後、博士の父、勉さんに電話でお祝を申しあげるとともに、博士には祝電を送りました。山村市長は博士の受賞が発表された直後、博士の父、勉さんに電話でお祝を申しあげるとともに、博士には祝電を送りました。

利根川さんは勉さんに住んでおられます。利根川さんは勉さんの転勤で、三十一年に伊賀高校（東京）を卒業後しばらく芦屋で過ごされました。十三年、日比谷高校（東京）を卒業後しばらく芦屋で過ごされました。博士も三十三年、日比谷高校（東京）を卒業後しばらく芦屋で過ごされました。勉さんは、「進は、よく勉強をしていたようですが、夢と希望を与える大変意

日本には年に二・三回しか帰つてこられないそうですが、時間があれば必ず芦屋の実家に立ち寄られます。市長は、「本市にゆかりのあるかたが世界で最も権威のあるノーベル賞を受賞されることは、教育に入れている本市にとって、このうえない名誉なことであります。わけ芦屋の子供たちには、夢と希望を与える大変意

ができます。この届け出をしようとすると人は、早めに最寄りの法務局に相談してください。国籍を取得できる条件および必要な主な添付書類は表のとおりです。届け出をするには国籍取得をしようとする人の住所地を管轄する法務局・地方法務局に、これらの書面を届け書とともに提出してください。国籍を取得しようとする人が十五歳以上の

12月31日までです

昭和六十一年一月一日から改正国籍法が施行され日本人の子で一定の条件を備えている外国人は、法務大臣へ届け出ることにより日本の国籍を取得することができます。

改正国籍法施行前に外國人父と日本人母との間に生まれた子の国籍取得の届け出は、特に改正国籍法の施行日から三年以内（本年十二月三十一日まで）に限つてすること

①日本の国籍を取得したときは、それによって外国の国籍を失う場合があります。（例えは、韓国など）

②法務局で届け出が受け付けられた後は、取り下げるとはできません。

③日本の国籍を取得したときは、日本人である父

④日本の国籍を取得したときは、戸籍の届け出をしなければなりません。

⑤日本の国籍を取得したときは、戸籍に入ることになります。

または母などの氏を称し、その戸籍に入ることになれます。

または母などの氏を称し、その

